

佳作

生物を守るために

赤坂中学校 川村 すみれ

生物は今、人の手による地球の温暖化、外来種の持ち込み、開発や乱獲で、生命が危いです。日本でもメダカや、コウノトリ、アオウミガメなどの三千百五十五種の野生生物が絶滅の危機に瀕しています。

私はテレビの特集などで、生物が抱える問題を観て、日本は対策をとっているのか疑問を持ったので、調べてみたところ「野生動植物種保存法」という、絶滅の恐れのある動植物全般の生息地の保護や管理、生態系の保護に加え、国内希少野生動植物の学術目的以外の捕獲、採取、売買、輸出入を禁止したりする。などの内容の法律がありました。日本はちゃんと法律があり、絶滅の恐れのある動植物を守っているのだと分かりました。

いままで私は、絶滅の恐れのある動植物は、その動植物自体を守ればよいのだと思っていました。ですが、生物多様性や食物連鎖でつながっているのです、絶滅の恐れのある動植物を守るには、その動植物の「生態系」ごと守らなくては、いけないのだと分かりました。

絶滅の恐れのある動植物を直接守ることは出来ませんが、身近な植物や動物を大切にすることで、絶滅の恐れのある

動植物を守ることに、つながっていると思います。なので、私も身近な動物や植物を大切にしていきたいです。

私は、今の人間は力を持ちすぎているのだと思います。生物の危機の原因は、全て人間のせいです。二酸化炭素の排出による温度上昇。ペットにするために、外来種を持ち込み、捨てたり、脱走。人工物による、水汚染。温度上昇による、海面上昇、水不足。人間の豊さのための都市開発。売るための乱獲。畑などをあらすから乱獲、私達人間も生物の一員です。人間もつながっています。自分達だけが強くなり、ほかの生物を絶滅させたり、絶滅のおそれがあるまでおいこんだりすることは、絶対にいけないと思います。でも、実際にそうなることは、守ることも、もともにもどすことは絶対にやらなければいけないことです。人間だけが強くなってしまつては、今は大丈夫でも、未来はきっと地球は生物がいなくなり、死の星になってしまうと思います。やはり、人間だけが強くなってしまつては、上手くほかの生物達と共存していけると良いと思います。